



第3回PTA理事会行われる ～次年度の活動に期待して～



1月27日(火)、会議室にてPTA理事会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大のために、学校行事の中止や縮小と連動してPTA活動や保護者の皆様に参加する機会がほとんど持てず、痛恨の極みでした。しかし時は過ぎ、次年度へ向けて行事の予定や予算案を立てなければなりません。また、総会を開くことができなかつたので、今年度の役員が多くが決まっています。理事会では、滝澤現会長と堀内次年度会長を中心に、これらの案と方向性の審議を行いました。

それにつけても、1日も早くコロナ禍が終息し、生徒の学校での様子を保護者の皆様と共に見守る日が来ることを願ってやみません。

3年福祉コース、感謝の気持ちを形に～ハートフルケアたてしな様へ～

前回の通信でもお伝えしましたが、3年福祉コースの生徒は巣立ちに向けて、今までの実習でお世話になった「ハートフルケアたてしな」様に、感謝状と記念品をつくりました。

生徒と共に施設を訪れる予定でしたが、新型コロナの影響で当施設は外来者の面会ができない状況です。今後も何時うかがうことができるかわかりません。ですので、この紙面であらかじめ生徒の感謝の気持ちの一部をお伝えします。

- ・コロナ禍で大変な中、実習をさせていただきありがとうございました。初めは利用者さんとも上手くコミュニケーションをとれず、大変に思うこともありましたが、職員さんから会話のコツなどを教えてもらい、利用者さんともたくさんお話することができました。学んだことを生かしこれからも頑張っていきたいです。
- ・実習をさせていただき、評価をさせていただきありがとうございました。とても細やかに指摘していただいてこれから仕事に就くときに、していただいたこと注意しながら行っていこうと思います。
- ・職員の方は一生懸命利用者の方と向き合っていて、とてもかっこいいと感じました。



生徒一人ひとり思いを込めて

困ったお話(その23) (妄想商品券)

昨年、村の経済振興を目的とした小川村商品券が、各戸20,000円分配布された。自分の意志で購入したわけではないので忘れていたら、有効期限の1月31日に近づいていることに、先週の土曜日気がついた。小川村で私が利用する店は、農協、コ〇リと地場産(道の駅)ぐらいしかない。使い道に困ってしまった。

そうだ! コ〇リの商品券に換えれば31日以降もずっと買い物できるし、立科でも使えるではないか。我ながら名案と思いい店へ行き、店員に交換を頼んだ。すると店長が出てきて、「金券とは交換できません。」とけんもほろろに即答されてしまった。さて、私がしょんぼりと店から出てきたら、後ろから店長が追いかけてきた。

これは、私の気品のある高貴な様子を見て我を恥じ、「やっぱり交換します。いや、交換させてください!」と言いに来たに違いない。そのときは、それまでの店長の振る舞いに寛容の態度を示し、「苦しゅうない」と厳かに対応しよう。作業着に長靴姿の私は、これからの展開に思いをはせた。

ところが、店長は私に追いつきこう言った。「小川村商品券の裏を見てください。ほら、金券あるいはその類には交換できないって書いてあるでしょう。」私を諭す店長の眼には、ある思いがありありと浮かんでいた。

「何も分かってない下衆なおやじに、高貴な俺が教えを垂れてやろう。」

